

サザンクロス

vol.8

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER

January. 1. 2010



病院長
山本 忠生

心が変われば

専門家は誰もが特別な技術を持っています。医療は多数の特殊技能を持った人々が働く機械化の難しい産業です。人件費が固定された病院で経営を効率的に行うには常に無駄のない動きが求められます。我々が急性期病院としての任務を果たすには、個々の力を集めて全員の協力体制を作ることが重要です。しかし専門家は自分の得意な狭い範囲から外に出ない“専門ばか”になりがちです。もっと専門分野の裾野が広くないと高い専門性は維持できません。各地の自治体病院は地域社会に貢献し、親しまれてきました。しかし多くの自治体病院は厳しい経営状態にあえいでいますが、その重要な使命は、地方の不採算医療の受け皿になることです。この中で安定して病院を発展させ、専門家を揃えて住民の期待にこたえていくには、高い専門性を備えた幅の広い人材が必要で、できるだけ人材は自前で育てなければなりません。幸い紀南病院では看護学生や研修医を育てて診療レベルの向上が図れます。

病院機能評価受審では目標設定・人事考課が重要なポイントになっています。民間病院では当たり前になっていますが、給与体系が年功序列で身分が保証されている自治体病院で、目標管理・人事考課を行うにはいくつかの壁があります。その壁を超えて患者の満足度を高め患者に選ばれる病院を作れば安定した病院運営が可能になります。目標を設定し、実行し、結果を分析し、振り返りや修正を行うサイクルをPDCAといい、昨年の医療安全標語に取り上げられました。人事考課を行うには目標が適当か、評価は誰がどうするのかといった問題があり、結果のフィードバックにも大きな課題があり簡単にはいきません。しかし目標管理・人事考課は仕事に対する意識を高め、自分のキャリアを向上させるものです。まず自分の心から変えていくのが第一歩です。次のヒンズー教の言葉に私は夢を感じます。

心が変われば、態度が変わる。
態度が変われば、行動が変わる。
行動が変われば、習慣が変わる。
習慣が変われば、人格が変わる。
人格が変われば、運命が変わる。
運命が変われば、人生が変わる。

来年度の展望



事務局長
木本 祥司

病院の収入に多大な影響を与えている診療報酬のマイナス改定が永い年月に及んでいます。現在においても収入の増加が見込めないなか、病院としては経営の効率化を図り、財政の健全化に努めてまいりましたが、それでも平成21年度は赤字が予想されています。

このような財政状況の中、病院では良質で公平・公正な医療を効率的に提供するため、電子システムの切り替えを行ったり、全身用超高速マルチスライスCT装置を導入したり、包括医療のDPCの導入も行いました。

紀南病院は平成18年3月から抜本的な経営改革を進めるため、中期的な年次計画や数値目標を定め、確実性のある経営改革の実現を図る病院事業経営中期計画を立てて実施して参りましたが、それが公立紀南病院組合改革プランへと引き継がれています。その改革プランによれば来年度からは収支状況が改善され、赤字の幅が小さくなっていくことが予想されています。

来年度の展望として、社会保険紀南病院の建物の所有者が独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構から独立行政法人地域医療機能推進機構に承継される細かなことが見えてくる年であると思いますが、社会保険紀南病院としては病院機能評価機構の更新審査を受審し、V6に見合うレベルアップを図り、地域住民の皆様のために良質な医療を提供していこうと思っています。



神経内科
中西 一郎

2009年4月から、毎週木曜日神経内科外来を担当させていただくようになりました。現在は和歌山県立医科大学大学院で研究をしながら、和歌山県下のいくつかの病院で神経内科外来を担当させていただいております。専門は特になく、神経内科全般を診療させていただきます。

神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科です。症状としてはしびれやめまい、うまく力がはらない、歩きにくい、ふらつく、つっぱる、ひきつけ、むせ、しゃべりにくい、ものが二重に見える、頭痛、かつてに手足や体が動いてしまう、ものわずれ、意識障害などたくさんあります。ただしこれらの症状の原因としては、神経系以外に、全身の病気(肝臓や腎臓、血液、代謝内分泌などの異常)や手術が必要な病気(脳腫瘍や脳出血、脊椎疾患など)が関与することもあり、神経内科ではこれら全身の疾患を診ることができます。神経内科で治療の対象となる疾患は、認知症、脳卒中(主に脳梗塞)、頭痛、パーキンソン病など神経難病、てんかん、筋疾患などですが、全身の病気の場合は内科に、骨や関節の病気がしびれや麻痺の原因なら整形外科に、神経疾患に対して手術が必要なときは脳神経外科に、精神的な要因が考えられる場合は精神科や心療内科にご紹介することがあります。

「神経内科の病気は治らない」といわれます。しかし生命を脅かす病気はまれであり、長期に患者さんとおつきあいすることができます。医療の進歩により疾患が根本的に治癒できないにしても治療により症状を軽減させることができるようになってきました。神経内科外来の目標は、病気の治療だけではなく、リハビリテーションの指導や公的サービスの利用など、いろいろな方法を駆使して、患者さんの日常生活の質の向上を図ることにあります。

私は田辺市の出身で、まだ建て替える前の紀南病院で生まれました。地元を離れて約20年になりましたが、この度紀南病院で外来を担当させていただくことができ本当にうれしく思います。地域医療に少しでもお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

看護学校だより

学校祭

11月27日(金)、28日(土)、晴天のなか学校祭を開催しました。今年の学校祭は、テーマ「笑顔 ふれ愛」でした。学生自治会で、4月より企画しポスターを貼り、会場準備を学生主体で行いました。

検査コーナーでは身体計測、血圧測定を行いました。模擬店・展示即売など、出品にはハモニティ、こころの医療センター、熊野高校、南部高校などにご協力を頂きました。各学年のクラス発表では1年生は、「すぐに使える色の知識!!～人体に与える色の影響～」、2年生は「笑顔につながる健康教室～インフルエンザの予防～」、3年生は「いざというときのために(AED体験)」の内容でまとめて発表しました。近隣及び医療関係の方々たくさんのご来校を頂きありがとうございました。(来校数222名)

学校祭の収益は毎年、学生が寄付先を決め、今年は日本盲導犬協会に寄付しました。

第33回生 ケーススタディ発表会について

平成22年1月13日(水)第33回生(3年生)のケーススタディ発表会を開催しました。臨地実習で受け持たせていただいた患者様への看護を振り返り、看護実践の結果を評価・考察するとともに自己の看護観を明確にし、ケーススタディをとしてまとめました。



地域医療連携だより

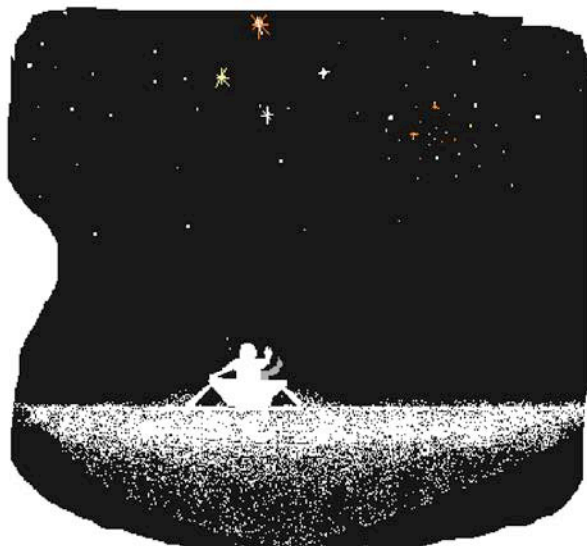


伊谷歯科医院
伊谷充礼

紀南病院の大亦先生から電話があり、患者様の事かと思わずドキッとしましたが、院内外広報誌『サザンクロス』に執筆の依頼ということで、浅学非才の小生に文章が書けるか悩みましたが、常日頃お世話になりっぱなしなのでお受けいたしました。しかし、稚拙な文章しか書けないのでお許し願いたいと思います。

『サザンクロス』何と言う、いい響きでしょう。日本語では南十字星と呼ばれ、南半球を航海する者が目標として仰ぐ、十字形にならぶ四つの星。残念ながら日本からは見えませんが、詩文に名高いとなっております。

前置きはこの位にしておいて、せっかくの機会ですから、紀南病院歯科口腔外科と田辺西牟婁歯科医師会の関わりについて述べたいと思います。旧来の紀南病院は、駐車場が狭く、建物が古いというイメージがありましたが、新たに移転して、本当に素晴らしくなりました。歯科口腔外科は当初は大阪大学から派遣され、その後は和歌山県立医科大学からと伺っています。私達、開業歯科医は、普段の診療で基礎疾患を抱えた患者様の抜歯や観血的処置、色々な悪性腫瘍等、難症例に大変神経を使っています。紀南病院、南和歌山医療センターに難症例のお願いをしておりますが、とりわけ紀南病院には多くのご紹介をさせていただき、本当に私達の心の支えとなっております。



また今年の田辺西牟婁歯科医師会忘年会に先立って大亦先生より、「抗血栓療法中の歯科治療について」ということで講演をお願いしております。紀南病院、南和歌山医療センターとの学術的な関係もさておき、毎年9月に開催されます和歌山県歯科医師会主催の地区対抗のソフトボール大会では、両病院の先生方は大活躍されます。日頃、狭い診療室でどちらかいうと繊細な仕事をしていると、広いグラウンドで全身を動かし、走り回ることにより、ストレスを発散するのはたいていへん素晴らしいことです。どうかこれからも田辺西牟婁郡の拠点病院として、宜しくお願いいたします。

この原稿は、2009年11月に寄稿していただきました。

病院のまど

正面玄関前花壇が美しくなりました。

冬になり正面玄関前の花壇が寂しくなっていたところ、南部高校農業クラブの皆さんが、パンジーの花を植えて下さいました。色とりどりのパンジーの花に飾られ、見違えるように美しくなりました。土壌改良から植え付けまで大変だったと思います。ありがとうございました。



第22回市民健康講座のお知らせ

突然のくしゃみ、鼻水、鼻づまり・・・風邪ひき?いいえアレルギー性鼻炎かも。日本人の5人に一人はアレルギー・花粉症で悩んでいます。原因、発症のメカニズムなどを勉強して、症状改善しませんか。

時間 午後2:00～3:00

会場 紀南病院3階講堂

演題 スッキリ! 過ごそう花粉症
～花粉症を中心にアレルギー性鼻炎の
機序と対策について～

演者 耳鼻咽喉科医長 安井 紀代

第21回市民健康講座について

平成21年11月29日(日)に、市民健康講座を開催しました。今回は、「大腸癌～克服するために知っておくべきことは何か?～」と題しまして、当院外科部長藤田繁雄が講演しました。

昨今、大腸癌にかかれる方が増えてきたこともあり、皆さんの関心も高く多数の方々がお越しになりました。その大腸癌について分かり易く解説し、ご好評を頂きました。



<紀南こころの医療センター

受付時間変更のお知らせ

(平成22年1月1日より)

<外来受診案内>

【診療科目】	精神科
【診療日】	月曜日～金曜日
【休診日】	土曜日・日曜日・祝日・年末年始
【受付時間】	8:00～11:30
【予約診療時間】	8:30～12:00、13:00～15:30

- * 16才以上の方に限ります。
- * 予約診療を行っています。
- * 予約枠に余裕がない場合は、ご相談させていただきます。

* 電話による予約受付時間は、15:00～17:00です。

紀南こころの医療センター 病院長

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年も昨年以上に気を引きしめて頑張っていきましょう。

(T. I)

ハートフルコンサートについて

平成21年11月29日(日)に、アイリッシュハープ奏者玉置和美さんによるハートフルコンサートを開催しました。ハープの柔らかく優しい音色に、心癒やされました。



基本理念

社会保険紀南病院

私たちは、患者さまに優しさをもって接し、皆様から信頼される医療を目指します。

紀南こころの医療センター

やさしさをもって、信頼と満足の得られる医療を行います。

社会保険紀南病院

〒646-8588 和歌山県田辺市新庄町 46-70

Tel 0739-22-5000 Fax 0739-26-0925

<http://www.kinan-hp.or.jp>

Southern Cross
kinan hospital official information paper